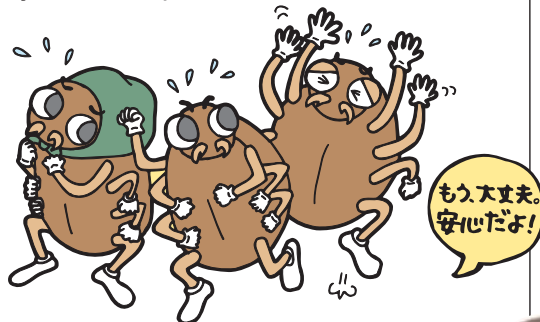


あなたにもできる! 暮らしの快適を守る方法教えちゃいます!

その2 アレルギーの原因 ダニ対策



アレルギーの原因、ダニ... 毎日掃除していても、ホコリ1gの中にダニが200匹いると言われています。ただ、このダニはチリダニで人を刺すこともなく、200匹くらいならほとんど害はありません。でも、チリダニが繁殖すると、それを食べるツメダニが発生します。このツメダニが人を刺し、かゆくさせるのです。また、ダニやその死骸、フンがゼンリクやアトピー性皮膚炎の原因となるので、掃除は念入りにしましょう!

ダニが発生する条件とは?

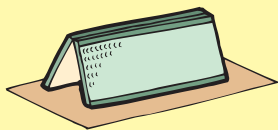
温度 20~30°C、湿度 60~80%、ホコリやフケ、食べ物のカス、カビなどダニのエサがある所、畳やカーペットがあったり、家具などの後ろにホコリがたまっていたりして産卵できる場所があるなど。これらの条件が重なると発生します。つまり、ダニは、換気をよくして温度、湿度を下げ、掃除機をこまめに掛けてチリやホコリをためないことが大切です。



ダニは、こうして予防しよう!

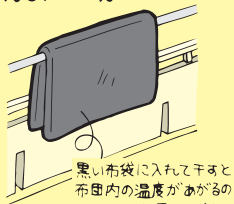
天日干しをする《畳》

和室の風通しをよくして、その場で畳どうしを立て掛けるとずいぶん違います。外に出せるのなら表裏を交互に直射日光にあて十分に乾燥させればさらに効果的! その後、畳の表裏と畳をばらした床に掃除機をかけて元に戻しましょう。畳の上にカーペットを重ね敷きしたままですと、吸収された湿気がたまり、ダニ繁殖の好条件になるのでご注意ください。



天日干しをする《布団》

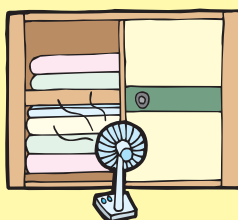
寝汗をかきやすい夏は頻りに天日干ししましょう! 取り込んだ後、掃除機をかけることでダニのフンや卵も除去できます。天日干しができない場合は布団乾燥機を使いましょう! また、シーツ類もこまめに替えて清潔にしてください。梅雨時には、普段使わない客用布団なども天日干しすると安心です。



黒い布袋に入れて干すと布団内の温度があがるので、さらに効果アップ!

換気をよくして湿度を下げる

留守がちでいつも部屋を閉切っていたのではダメ! たしな冷房中でも閉めたままではダメです。また、気密性が高い現在の住宅では冬だからといって安心してはいけません。定期的に風を通し、湿度を下げる工夫をしてください。汗を吸い込んだ布団が入っている押入れも要注意! 特に梅雨時には扇風機の風をあてたり、除湿器を使うなどして強制扇風機に除湿をしましょう。



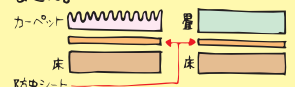
掃除機をよくかける

掃除機をよくかけて、ダニのエサとなるホコリやダニの死骸、フンをしっかり除去しましょう! 畳やカーペット、部屋の四隅、家具の裏なども丁寧に掃除してください。座布団やクッション、布製ソファ、ぬいぐるみも忘れずに! 寝具には布団用のノズルを付けましょう。



防虫シートを敷く

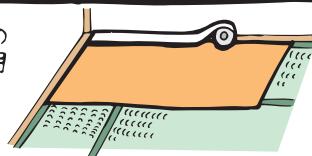
畳やカーペットの下に防虫シートを敷き込んでおくと約1年間、ダニを寄せつけません。



こんなときはどうするの?

もしも、ダニが大量発生したら?

もしも、ダニが大量発生してしまった場合は、畳やカーペットの表面にも防虫シートを敷きつめ、状況に応じて1週間~1か月そのまましておきましょう。



もっと詳しく大切な家のこと、お話ししたい。どうぞお気軽に是非、お電話ください!



駐車場完備

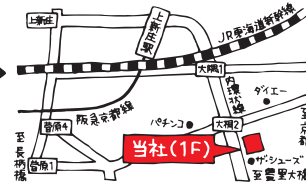


イレブンエステート 株式会社

〒533-0011 大阪市東淀川区大桐2丁目5番6号

TEL 0120-68-1171 FAX 06-6324-1171

定休: 水曜日



住宅性能保証機構登録店 (財)住宅性能保証機構より保証書が発行されます

(社)大阪府宅地建物取引業協会正会員 (財)住宅性能保証制度登録店 第21001461号 ホームページもご覧ください。 URL http://www.11estate.co.jp 宅建免許/大阪府知事(2)第46204号 建設業/大阪府知事許可(般-15)第109245号 E-mail info@11estate.co.jp